



今年も愛南町が 鉄入たちの熱気に包まれた

大会データ

▶男子総合部門

- 第1位: 福島 旺 (愛媛県) 2:06:21
- 第2位: 山本 十士 (学生連合) 2:10:35
- 第3位: 福吉 雄樹 (高知県) 2:13:14

▶女子総合部門

- 第1位: 藤坂 百恵 (徳島県) 2:25:02
- 第2位: 松井 安希子 (香川県) 2:37:30
- 第3位: 北吉 舞 (奈良県) 2:38:49

最終エントリー数: 305人
 当日出場者数: 285人
 完走者数: 259人

夏を予感させるような、絶好のトライアスロン日和となった6月1日(土)、西海地域で『愛南町いやしの郷トライアスロン大会』が開催されました。

この大会は公益社団法人日本トライアスロン連合公認大会となっており、今年も北は北海道から南は宮崎県まで総勢305人がエントリー。

起伏に富んだ全国屈指の難関コースにトライアスリートが挑みました。



SWIM 1.5km

フローティングスタートを採用。3グループが2分おきにスタートし、1往復750mのコースを2往復する。



BIKE 40km

バイクは10kmのコースを4周する。スタート直後から襲いかかる急な上り坂を、選手たちはバイクで懸命に駆け上がっていく。



RUN 10km

西海トンネルを通り久家地区を回るコースを3周する10kmの道のり。懸命に走り抜ける選手たちの背中を地域の声援が後押しする。





本大会初参加にして総合トップでゴールした福島
あきら 旺さん（日本食研トライアスロン部所属）。2時間6分
21秒でゴールした福島さんは、「沿道からの声援が
とても温かく、自分の気持ちがどんどん乗って行くの
を感じながら走れた」とレースを振り返りました。
女子の部1位の藤坂百恵さん（徳島県）は2時間
25分2秒でゴールし、見事2連覇を達成。終始疲れを
感じさせない走り、沿道の声援に笑顔で応えなが
らゴールテープを切りました。

ainan TRIATHLON 2024

Ayashinosato



トライアスリート福元テツローさんが
船越小・福浦小児童に向けて講演

船越小学校児童が応援と祝福
の気持ちを込めて、一言メッセージ
付き完走賞メダルを制作。
当日はゴール地点で選手を出
迎えて、完走者全員にメダルをプ
レゼントしました。



「夢先生」として全国で講演会も行っている、トライアスリートの
福元テツローさん。5月31日(金)に船越小学校を訪れ、両校児童
に向けて自分たちが持つ可能性、そして夢を持つことの大切さを
話しました。

当日は、夢を背負って奮闘する福元さんに向けて、児童たちは
力一杯声援を送り続けました。



力を合わせて305個のメダル制作



かずあき
視覚障がいを持つ佐々木一明さん(左)と
伴走の浅井裕史さん※スイム・ランのみ参加



姉妹都市・兵庫県丹波篠山市から交流ランナーとして
出場した三宅心さん



ハンディキャップを感じさせない魂の走りを見せ、多くの観客に感動と勇気を与えたお2人は今年で結成5年目を迎え、まさに阿吽の呼吸。
笑顔を絶やさず走り抜いた佐々木さんは、「来年はぜひバイクにも出場したい」と、さらなる意欲を見せました。

2時間31分24秒の力走を見せた三宅さんは、「目標タイムまであと一歩でしたが、豊かな自然を感じてレースを楽しむことができた」と笑顔で話しました。
アワードパーティーでは、丹波篠山市長から託された親書を清水雅文町長に手渡し、姉妹都市交流を深めました。



愛媛
CATV
動画

